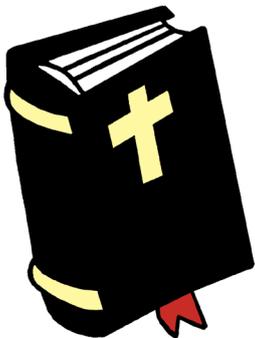


せいしょ どうじょう わかもの 聖書に登場する 若者たち：

ほりよ 捕虜として バビロンへ 連れて行かれる

ダニエル書 第1-4章と 第6章より



紀元前605年、バビロン王国のネブカデネザル王はエルサレムを攻め、町を占領しました。ネブカデネザルはバビロンに帰る時に、ユダヤの神殿から宝物を持ち去りました。また、ユダヤ人の貴族の中から何人もの若者を捕虜として連れ去りました。

聖書には、捕虜として連れ去られた若者4人についてのお話が書かれています。4人は、シャデラク、メシャク、アベデネコ、それにベルテシャザルという、バビロンの名前を与えられました。（彼らのヘブライ人としての名前は、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤ、それにダニエルでした。）

この若者たちにとって、捕虜になったことは人生の終わりではありませんでした。彼らは、神様の大きなわざを行いました。ダニエル書を読んでみましょう。彼らが神様への信仰をつらぬき、その生きた信仰で、バビロン王国の大勢の人たちに影響を与えた様子が書かれています。

また、彼らが勤勉で非常に信頼されたことから、神様は彼らが王宮での重要な責任を持つ地位につくようにもされました。ダニエルが、幻や夢を解き明かすという神様から与えられた賜物を用いて、ネブカデネザル王を助けたことも何度かありました。

ダニエル書の第1-4章と第6章には、彼らの目を見張るような活躍ぶりが書かれています。読んでみましょう。



せいしょ どうじょう わかもの 聖書に登場する 若者たち：

ほりよ 捕虜として バビロンへ 連れて行かれる

ダニエル書 第1-4章と 第6章より



紀元前605年、バビロン王国のネブカデネザル王はエルサレムを攻め、町を占領しました。ネブカデネザルはバビロンに帰る時に、ユダヤの神殿から宝物を持ち去りました。また、ユダヤ人の貴族の中から何人もの若者を捕虜として連れ去りました。

聖書には、捕虜として連れ去られた若者4人についてのお話が書かれています。4人は、シャデラク、メシャク、アベデネコ、それにベルテシャザルという、バビロンの名前を与えられました。（彼らのヘブライ人としての名前は、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤ、それにダニエルでした。）

この若者たちにとって、捕虜になったことは人生の終わりではありませんでした。彼らは、神様の大きなわざを行いました。ダニエル書を読んでみましょう。彼らが神様への信仰をつらぬき、その生きた信仰で、バビロン王国の大勢の人たちに影響を与えた様子が書かれています。

また、彼らが勤勉で非常に信頼されたことから、神様は彼らが王宮での重要な責任を持つ地位につくようにもされました。ダニエルが、幻や夢を解き明かすという神様から与えられた賜物を用いて、ネブカデネザル王を助けたことも何度かありました。

ダニエル書の第1-4章と第6章には、彼らの目を見張るような活躍ぶりが書かれています。読んでみましょう。

文：聖書の物語を分かりやすくしたもの 絵とデザイン：ディディエ・マーティン

Copyright © 2018年、[ディディエ・マーティン](#) 使用許諾取得済 “Young People in the Bible_Captives to Babylon”--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ [子供のための聖書物語、聖書に登場する若者たち](#)